

アキバのジャンク屋巡り

その“歩き方”

大公開

波多 利朗

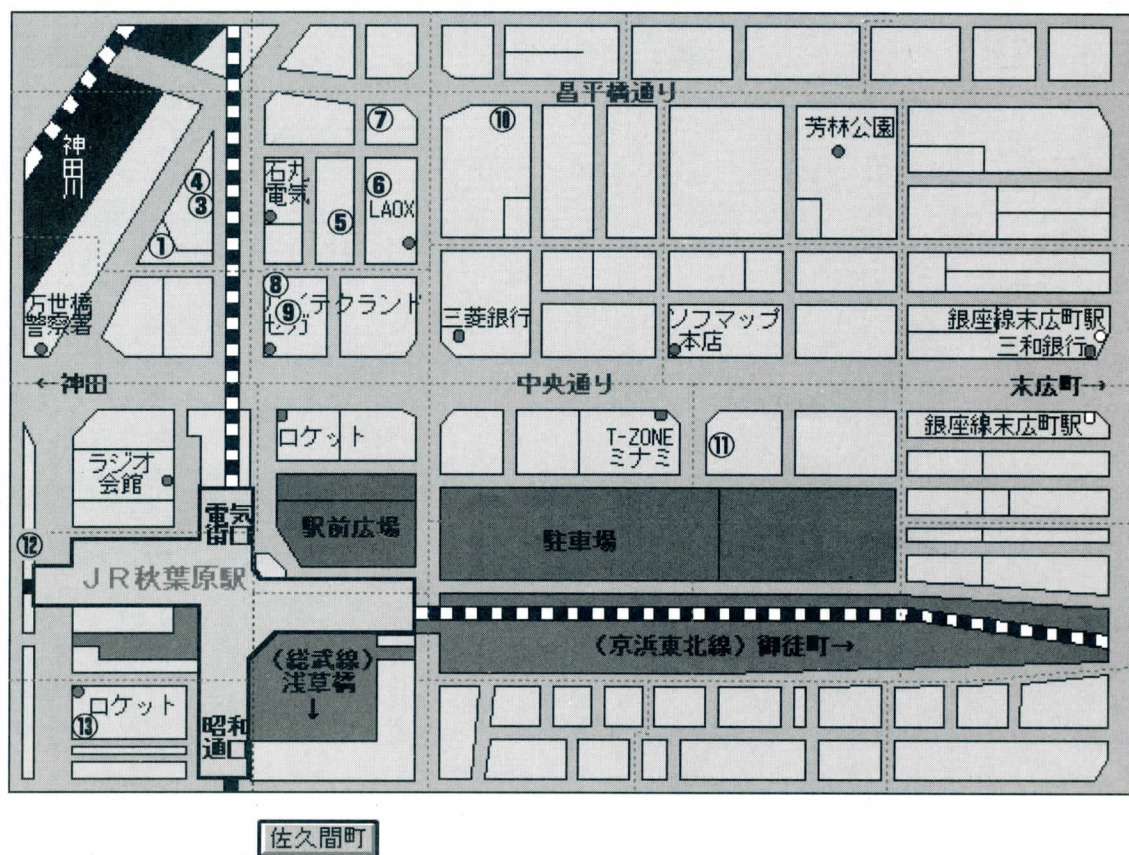
編集部より、「秋葉原のジャンク屋紹介記事を書いてくれ」との依頼があった。筆者は本誌上に毎号ジャンクな記事を書いているので、引き受けることにした。

筆者の知人に、仕事上毎日秋葉原へ行っている人がいるが、彼は、行ったついでに毎日ジャンク屋巡りをしている。ほんとうに恵まれているとしか思えない。このような人と比べると、筆者なぞ毎週末に1回ジャンク屋巡りをするのが精

一杯であり、そういった意味では、まだまだ修行が足りないのかもしれない。

というわけで、借越ながら秋葉原のジャンク屋紹介をさせていただきます。同時に、各ジャンク屋で購入した「変な」モノも掲載する。「こんなもん買ってどないするねん？」なんてヤボな質問はしないでほしい。筆者のようにガラクタ収集が好きな人間にしか、この醍醐味はわからないものなのだから……。

AKIBA



▲秋葉原全景 (数字は、次ページ以降掲載のショップ番号)

(注)この地図は、石橋文健氏作のフリーソフト「秋葉原マップ」をもとにして作成した。以降の地図も、すべて同様である。このソフトについては、P.76のコラムに紹介がある。

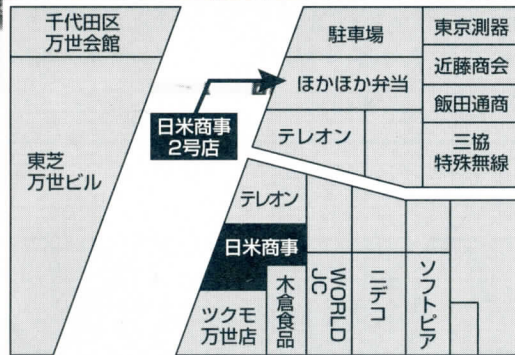


オフコンからネジまでバラエティーに富んだ品揃え

日米商事



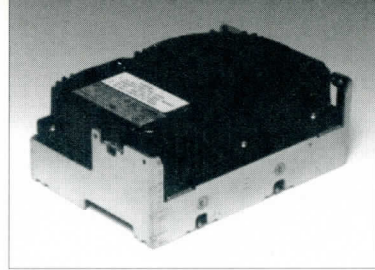
▲日米商事



秋葉原ではよく知られたジャンク屋で、石丸電気2号店の筋向かいに位置する建物のなかにある。秋葉巡りをする際には、必ずといってよいほど立ち寄る店のひとつである。

品揃えはバラエティーに富み、大物はオフコンから小物はネジまで、その守備範囲は極めて広い。

この店では、筆者はよくHDDやFDDを購入するが、こ



◀日立製5インチ・フルハイトの330MB SCSIドライブ「DK514C-38」

れらの商品は店の奥にあるレジ横の棚に多数並べて置いてある。一見雑多に積んであるが、よく探すと思わぬ掘り出し物を見つけることができる。価格はかなり安い。

HDDについては、ST-506、IDE、SCSIと、結構な数のドライブを購入している。そのほとんどが未チェック、動作保証なしのものであったが、運がよいのか、再生できなかった製品はまだ1台もない。

店先では、ダンボール箱にIBM関係の基板が突っ込まれていることがあるので、チェックが必要だ。最近では、小型のカラーLCDモジュールが話題を呼んでいる。

なお、日米商事には2号店がある。2号店は、本店の3軒隣りの地下1階に位置する。ほかほか弁当屋のそばに入り口があるが、間口が狭いため若干わかりにくい。地下1階へ通じる階段も非常に狭くて降りにくく、怪しげな雰囲気を出している。

ここには、セットもののコンピュータが多く展示されている。レジの机の上に、店のペットと思われる犬が寝ていることが多く、なんともほほえましい。なお、2号店の営業時間は、土・日・祭日の午後2時から6時までである。

筆者は、日米商事では多数のジャンクを購入している。店先のダンボール箱に無造作に突っ込まれていた「IBM The PC」のマザーボード(1000円)を始めとして、日立製5インチ・フルハイトの330MB SCSIドライブ「DK514C-38」(1万2000円、重量約3.6kg!)、「IBM PC/XT Model 286」本体(1万5000円)、富士通製SCSI単速CD-ROMドライブ(5000円)など、枚挙にいとまがない。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-3-9 増田ビル1F

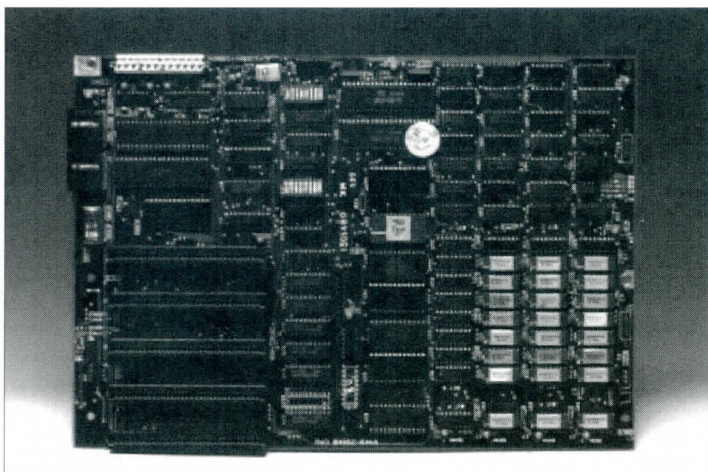
TEL 03-3253-5018

年中無休

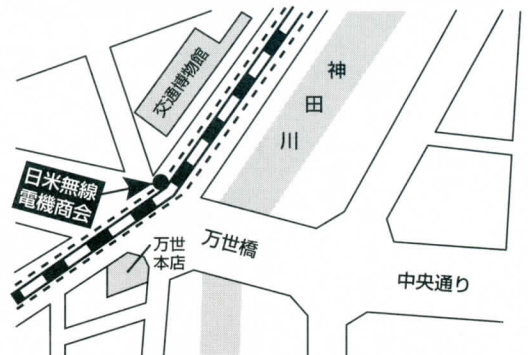


中古HDDの出物に当たることもある

日米無線電機商会

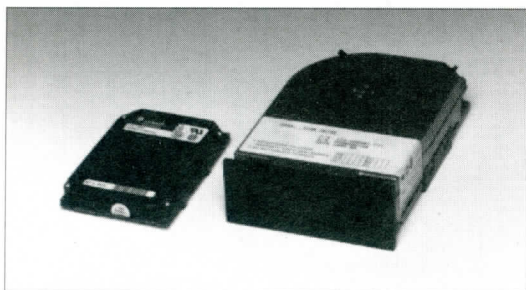


▲「IBM The PC」のマザーボード



3

ジャンクを満載したワンボックスカーに廃人が群れる
リサイクルセンター



▲NEC製の40MB SCSI HDD「D3841」(右)と、CONNER社製2.5インチIDE HDD「CP-2024」



▲電電公社4号A自動式電話機

万世橋を渡り交通博物館へ向かう途中、JR中央線高架下の「ラジオガアデン」にあるジャンクショップ。というより、「旧万世橋駅跡地」といったほうが、わかりやすい人もいるかもしれない。名前が名前だけに、日米商事と混同する人が多い。

休日になると、歩道上に段ボール箱をたくさん並べてジャンク品を販売している。

扱っている商品は、スイッチング電源、計測器、パソコンの各種インターフェイスボード、HDD、FDD、FAX、小型モーター、中古の家電製品など、さまざまである。

時々中古の安いHDDが出ることもあり、この前購入したNEC製の40MB SCSI HDD「D3841」は3000円、CONNER社製2.5インチIDE HDD「CP-2024」は1500円だった。

また、ここではアンティークな黒電話機も置いてある。稀少価値が出ているため、価格は2~3万円と結構高価だが、見るだけでも楽しい。最近では黒電話機がインテリアとして人気があるようで、TTS(Telephone and Telegram Service)マーク(いわゆる旧電電公社のマーク)が付いたものと、3万円くらいするものもざらである。

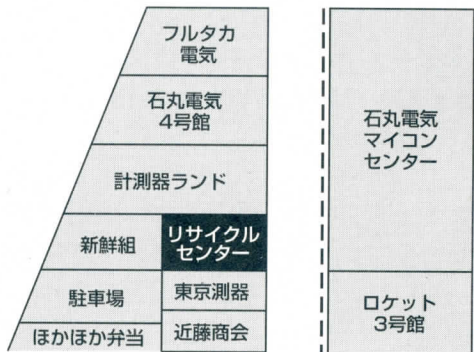
筆者は5年ほど前に、ここで1968年12月製造の、電電公社4号A自動式電話機を3000円で購入し、部屋に飾っている。

©〒101 東京都千代田区神田須田町1-25 ラジオガアデン
TEL 03-3251-3426

年中無休



▲リサイクルセンター



昌平橋の交差点から、JRの高架に沿って少し歩くと、右手に計測器ランドビルがある。このビル横のガレージに、ジャンク製品が大量に積まれている。ここが、計測器ランドのリサイクルセンターである。名前どおり、主な品揃えはリースパックの計測器であるが、パソコンのジャンクも多い。

筆者は土曜日の午後によく訪れるが、ジャンク製品を満載したワンボックスカーがやってきて、おもむろに今日の“おかず”を並べ始める。廃人どもはゾンビよろしく、まだ車に積み残し、値付けされるのを待っているジャンクを、車の窓越しに眺める——といった光景が繰り返される。

ひところパソコン関係のジャンクが大量に出たが、最近是不況のせい、以前ほどのパワーがなくなってしまい、残念である。計測器、パソコンが主だが、黒電話機やJRの信号機、パチンコ台など、時々とんでもないものが出てくるのも楽しい。

ここでも、多数のジャンクを購入しているが、メインは

AKIBA

やはり「IBM PC/AT」フルセット(1万5000円)である。これは以前「元祖IBM PC/ATの解剖と、ATケースを利用したUNIXマシンの製作」という変なタイトルで、本誌上で紹介した。

また、「IBM The PC」のフルセット(1万円)や、WESTERN DIGITALの170MB IDE HDD「Cavier 1170」(3000円)なども、ここで購入している。

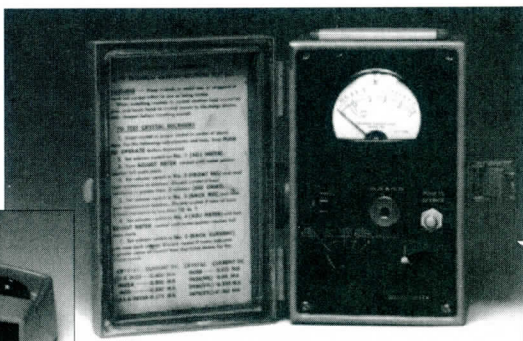
変わったところでは、整流用ダイオードチェッカー「TS-268 E/U」(2500円)なんていうものもあった。GEORGE VORON & CO.社製で、いかつい鉄のケースに入っており、単一乾電池で動作するポータブルタイプの製品である。メーターとツマミのデザインがレトロで、けっこう気に入っている。

また、ごく初期のポータブル端末も、ここで購入した。外観がレトロなので気に入ったのだが、SPECIALIZED SYSTEMS INCORPORATED (SSI) という会社の「SYSTEM 100 COMMUNICATOR」という製品である。単二乾電池4本で動作するポータブルタイプの端末で、QWERTY配列の31個のキーボードと音響カプラ、FIPが付いている。

電話機のジャンクが出ることもある。1970年1月製造の日本電気株式会社製造の「41-M型」電話機も、ここで3000円で購入した。本体側面にハンドルが付いていて、呼び出し時にゴリゴリと回すタイプのものである。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル
TEL 03-3255-8036
年中無休

▶ GEORGE VORON & CO.社製整流用ダイオードチェッカー「TS-268 E/U」



▲ SPECIALIZED SYSTEMS INCORPORATED (SSI) 社製「SYSTEM 100 COMMUNICATOR」

▶ 日本電気株式会社製造の「41-M型」電話機

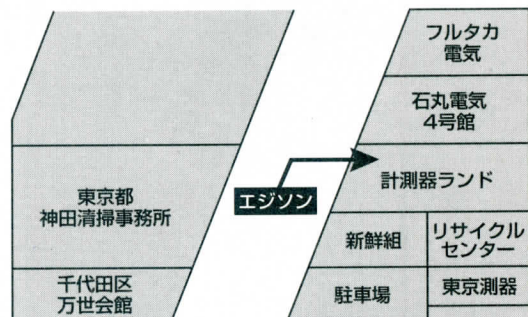


4

中古パソコン主体で、Mac関係は豊富
エジソン



▲エジソン



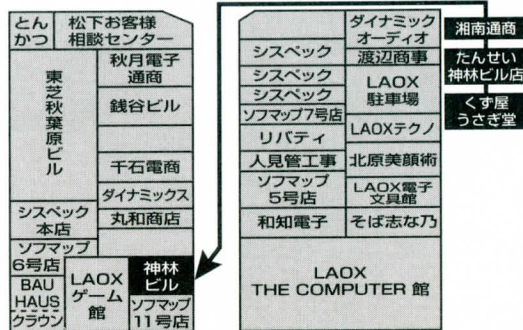
計測器ランドビル4階に位置するお店。ジャンクショップというよりは、中古のパソコン、計測器販売店といったほうがよい。同ビル1階のリサイクルセンターが、ジャンク部品専門であるのに対して、こちらはセット物の商品を主に扱っている。

PC-9801、Mac、IBMなどのパソコン本体やディスプレイ、周辺機器を多数置いており、とくにMac関係の品揃えは豊富である。店内は明るくて入りやすい。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル4F
TEL 03-3255-8075/FAX 03-3255-8076
年中無休

5

ジャンクマニアのメッカ的存在——秋葉原のミニ九龍城
神林ビル



LAOXザ・コンピューター館(通称ザ・コン)の裏に位置する「神林ビル」は、いまやジャンクマニアのメッカ的存在となってしまった。もっとも、このビルの名称が「神林ビル」だということを知っている人は少ないと思うが……。

神林ビルには、「湘南通商」「たんせい神林ビル店」「くず屋うさぎ堂」といった、ジャンク屋の王道を行くようなショップが軒を連ね、かなり重症の廃人の要求にも応えられるようになっている。

そのうえ、ジャンク屋ではないが、同ビルには「虎の穴」という同人誌コミックを専門とする漫画屋もオープンし、ビル全体が一種異様な賑わいを呈している。

このビルの階段は、狭いうえに急勾配なので、昇り降りには注意が必要だ。土・日ともなるとこの階段をひっきりなしに人が通り、各ショップへのアクセスは困難を極める。以下、秋葉原のミニ九龍城とも呼ばれる、この神林ビル内のショップを紹介する。

■湘南通商



▲湘南通商

●いまでも買える5球スーパーラヂヲキット

筆者は真空管世代の人間だ。小学校6年生のときに3球スーパーラヂヲを、中学校1年生のときには5球スーパーラヂヲを作成したものである。

真空管世代といっても、筆者が育ったのは、さすがにMT管の時代であり、その頃すでにST管は姿を消しつつあった。しかし、いまでもあのST管を使用したラヂヲキットを購入することが可能である。

キョードー森ビル第二店は、東京ラジオデパートに隣接するビルの1階奥にある、真空管専門店であるが、ここでは、ST管を使用した「真空管式5球スーパーラヂヲキット」を税込み4万円で発売している。

使用真空管は、6WC5、6D6、6ZDH-3A、42、80といった

標準的な構成となっており、キットには、中間周波トランス、アンテナコイル、局部発振コイル、2連バリコン、電源トランス、シャーシなど、必要な部品一式が内蔵されている。また、調整方法を記した詳細な組み立てマニュアルも付属している。

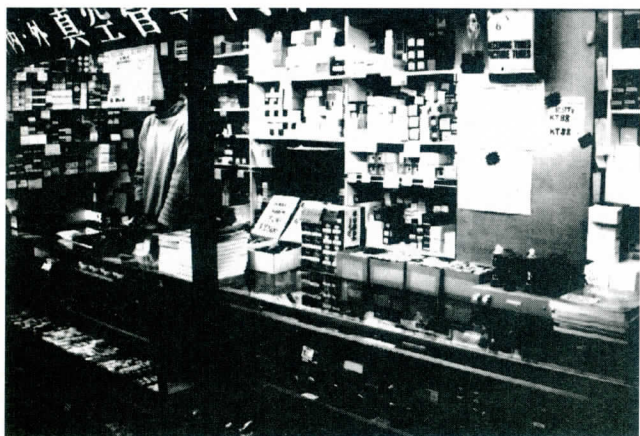
10セット用意し、筆者を含めて6名が購入したということであるから、まだ残りがあるかもしれない。

余談だが、キョードー東京ラジオデパート3階店は、アンティークラジオ、蓄音機、電話機などを販売しており、ちょっとした博物館となっている。

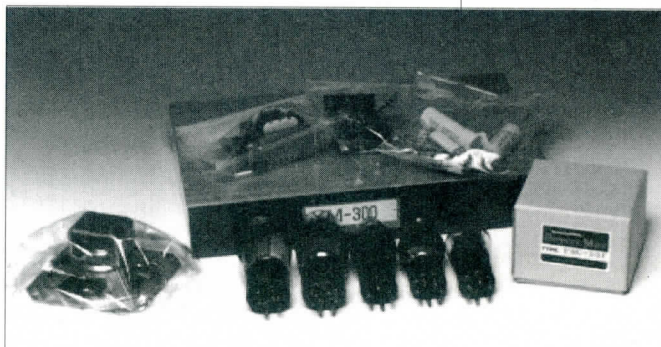
◎〒101 東京都千代田区外神田1-10-1

TEL03-3255-1753/FAX03-3255-1757

定休日：毎週日曜日(ただし、毎月最後の日曜日は営業)



▲キョードー森ビル第二店



▲キョードーの5球スーパーラヂヲキット

AKIBA

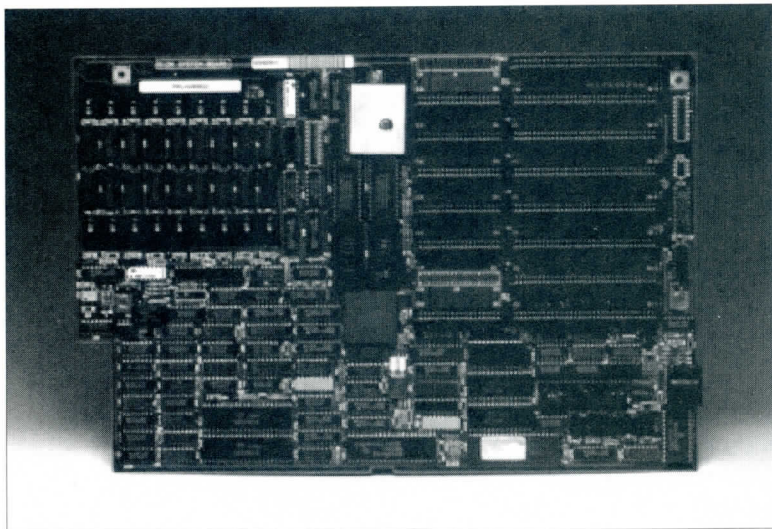
神林ビル入り口の13段の階段を登って2階に上がり、左手にあるジャンク屋が「湘南通商」である。扱っている商品は、パソコン、ワープロ本体、HDD、FDD、CPUなどである。

中古のCPUやSIMMメモリなどの小物は、レジ前のウィンドウのなかに展示されている。入り口を入れてすぐ左側には、掘り出し物のHDDが並べてあるので、要チェックだ。IBM系の商品のほかに、Mac関連の商品も多い。

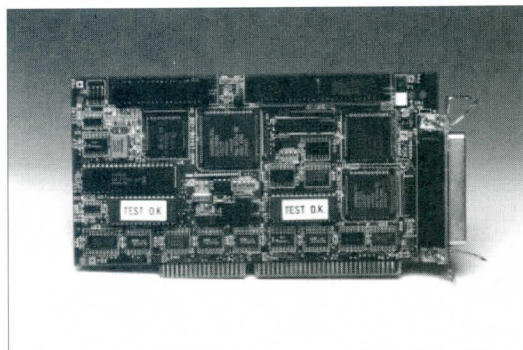
ほぼ毎日のように秋葉原に出入りしている知人に言わせると、「湘南通商では日曜日の午後に掘り出し物がよく出る」そうである。本当かウソかはわからないが、筆者が面白いものを購入した日は、主に日曜日の午後であったことを考えると、当たっているような気がする。

ここでは、IBM PC/AT純正のマザーボード(4000円)、i80486DX-25MHz CPU、アダプテックのAHA-1542B SCSIボード(1万5000円)、CONNER社製20MBの2.5インチIDE-HDD CP2024(1000円)、その他ジャンクの基板多数を購入している。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-8-7 神林ビル2F
TEL 03-3253-0478
定休日：毎週木曜日



▲IBM PC/AT純正のマザーボード



▶アダプテックのAHA-1542B SCSIボード

■ たんせい神林ビル店



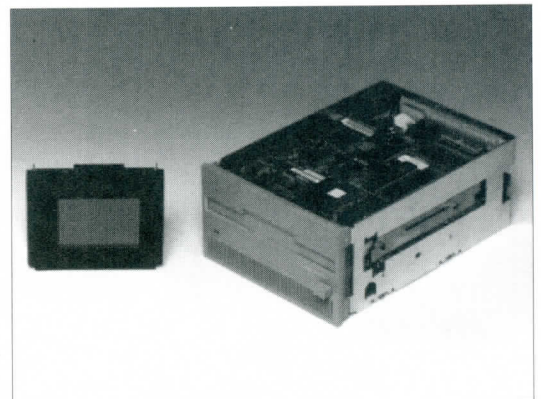
▲たんせい神林ビル店

神林ビル入り口の階段を登って2階に上がり、右側にあるジャンク屋が「たんせい神林ビル店」である。以前はジャンク山積み状態で、店内の通路も狭く、土・日などはラッシュ時の山手線状態であったが、最近本店が移転したのに伴い、店内のレイアウトを若干変更したので、混雑は多少緩和されたようだ。

この店は、とにかく探せばなんでも出てくると言えるくらいに多種多様な品がある。掘り出し物も多く、頻繁にチェックしていないと買い逃してしまう。

ここでは、リコー社製5.25インチWORM「RO-5040WL」(メディア1枚付き4万円)、IBM純正Enhanced PCキーボード(新品箱入り1万円)、Macintosh PLUS用テンキー付きキーボード(1万円)、カラーLCDユニット(3000円)などを購入している。リコー社製のWORMは、筆者が初めて本誌に書いたジャンク記事(1993年9月号)で紹介したものである。

◎住所：〒101 東京都千代田区外神田1-8-7 神林ビル2F
TEL 03-3254-5730/FAX03-3258-6774
定休日：毎週木曜日



▲リコー社製5.25インチWORM「RO-5040WL」(右)と、カラーLCDユニット

●ジャンク購入における「マーフィーの法則」

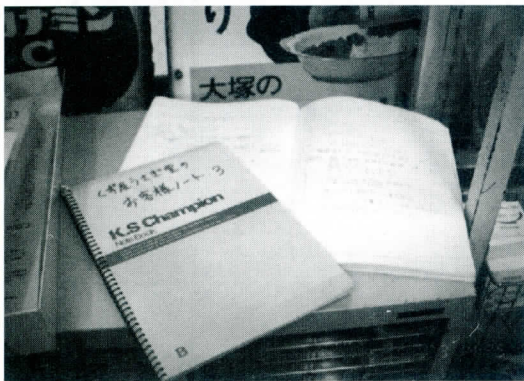
「通りかかったジャンク屋で掘り出し物を見つけると、現金の持ち合わせがない」
 「掘り出し物は、立ち寄らなかつたジャンク屋に出る」
 「きたないボードは問題なく動く。きれいなボードほど動かない」
 「最後の1台を買って友人に自慢していると、翌週同じ物が10台出てくる」

これらを、筆者はジャンク屋における「マーフィーの法則」と呼んでいる。ジャンク屋巡りの鉄則としては、「ジャンク屋には足しげく通え」
 「買おうかどうか迷った場合は、なにも考えずに購入しろ」
 「出かけるときは、現金を忘れずに」
 ——といったところだろうか？

■くず屋うさぎ堂



▲くず屋うさぎ堂



▲くず屋うさぎ堂の店内に置かれている「お客様ノート」

ここも筆者のお気に入りのジャンク屋である。神林ビルの3階にあるので、混雑時はアクセスするのが大変だ。くず屋うさぎ堂は、比較的最近オープンしたが、ユニークな品揃えでなかなか楽しませてくれる。

店内中央には、基板や部品が、ブリキのバケツに突っ込まれ積み上げられている。ブリキのバケツにジャンクを入れるという発想は、なかなか秀逸だ。国内外のパソコンのほかに、SUNなどのマシンもある。CPUやSIMM、HDDも扱っており、商品は多彩だ。

この店での珍奇商品は、なんといっても「ブリキの看板」であろう。ブリキの看板とは、あの「オロナミンCドリンク」や「大塚のボンカレー」の宣伝用看板のことである。

秋葉原広しといえども、このような物を売っている店は、ここぐらいではないだろうか。

以前には、このほかに「金鳥の蚊取線香」の看板もあったが、売れてしまったようである。いったい誰が、どのような目的で購入したのであろうか？ 考えると、結構謎だ。困みにお値段1枚1万円は、若干高いような気がする。3000円くらいだったら、買って部屋に飾っておくのも悪くないと思っているのだが……。

また、店内の一角にはお客様ノートが置かれていて、リクエストなどなんなりと自由に記入できるようになっている。気さくな店だ。

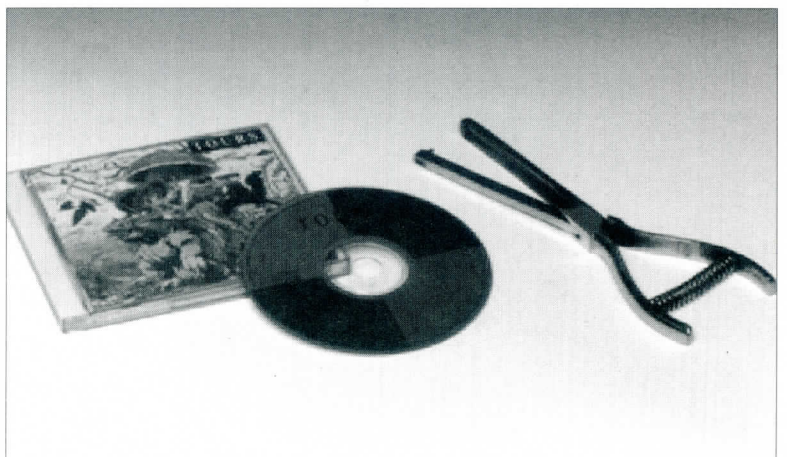
IBM系のジャンク品ではないが、ここで購入したものでは、旧国鉄で使用していた検札用パンチ(1500円)が気に入っている(筆者は鉄道マニアではないため、正式な名称はわからない)。

また、この店では、新品の音楽CDも販売している。先日購入したTROUBADOUR RECORDの「TOURS」というCD(2000円)は、なかなかよかった。ジャンク屋でこのようなCDを購入できるというのは、意外である。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-8-7 神林ビル3F

TEL 03-3256-9800/FAX 03-3256-9816

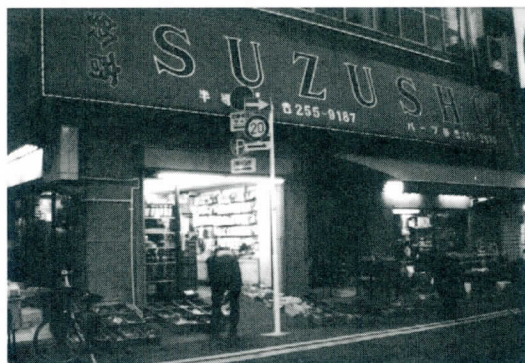
定休日：毎週木曜日



▲旧国鉄で使用していた検札用パンチと、TROUBADOUR RECORDの音楽CD「TOURS」



過去のものとなったデバイスを扱っているので重宝
鈴商



▲鈴商

ガソリン スタンド	T-ZONE パーツショップ
ニュー東和ビル	テクノハウス 東映

とんかつ	松下お客様 相談センター
	秋月電子 通商

鈴商	中華 泰園
鈴商	熊谷ビル
シスベック	SONY サービス ステーション
STAND-BY	NECパソコン 情報 スポット
ビクター サービス ドトール コーヒー	

	ダイナミック オーディオ
シスベック	渡辺商事
シスベック	

T-ZONEパーツショップの筋向かいにあるお店。電子部品販売が主であるが、ジャンク品も取り扱っている。ジャンク品は、CRT、HDD、FDDなどが多い。

また、この店ではすでに過去のものとなったデバイスを販売しており、重宝する。筆者のIBM PC/XTのCPUが壊れたとき、この店で8088を200円で購入して、復活させることができた。MC68000やZ80ファミリーなどのアン

ティークなCPUや、64KビットDRAM、256KビットDRAMなどのメモリも、豊富に在庫している。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-6-1

TEL 03-3255-4086/FAX 03-3255-4029

定休日：毎週木曜日



国産の中古パソコンが多いが、時々IBM系も出る
ソフマップ5号店

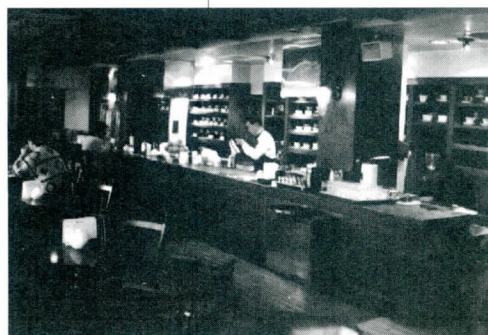


▲ソフマップ5号店

●秋葉原——ここで憩う、腹ごしらえする

■古炉奈 (コロナ)

魔人の間では有名な喫茶店。秋葉原では珍しいほど落ち着いた雰囲気の中でコーヒーが楽しめる。



▲古炉奈の店内

JR総武線高架の下に位置し、入り口は若干わかりにくい。

このコーヒーは、非常に旨い。コーヒーカップも、毎回いろいろな種類が出てきて、目を楽しませてくれる。筆者はよくランチタイムにカレーセット(カレー、サラダ、コーヒーの3点

セットで1300円)を食べる。

ケーキセットもお勧めで、とくにチーズケーキは絶品だ。

トイレはフランス製の便器を使用しており、そのデザインは一見の価値がある——と思うのは、筆者だけであろうか。

■万世ラーメン

秋葉原のラーメン屋といえば、「じゃんがららーめん」があまりにも有名である。あまりにも有名で、紹介するまでもないと思うので、ここでは「万世ラーメン」を紹介する。

万世ビルの地下1階にあるラーメン専門店、麺が太くコシがあつてうまい。具の種類も豊富で、いろいろと選ぶことができる。

とんかつ	松下お客様相談センター
東芝秋葉原ビル	秋月電子通商
	銭谷ビル
	千石電商
	ダイナミクス
シスベック本店	丸和商店
ソフマップ6号店	LAOXゲーム館
BAU HAUS クラウン	神林ビル
	ソフマップ11号店

	ダイナミックオーディオ
シスベック	渡辺商事
シスベック	LAOX 駐車場
シスベック	LAOXテクノ
ソフマップ7号店	リパティ
人見管工事	北原美顔術
ソフマップ5号店	LAOX電子文具路
和知電子	そば志な乃
LAOX THE COMPUTER 館	

神林ビルが位置する通り沿いにある、中古パソコン、ジャンク専門の4階建てのビルである。展示している商品は国産のパソコンが多いが、時々IBM系の製品も出るので、定期的にチェックしている。

以前、店頭で「ソフマップ秘蔵」と書かれた、かなり程度の良い「IBM PC/AT」が5台ほど縦置きで並べて販売されていたこともあった。

値付けは、一般のジャンク屋に比べて少し高いようだ。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-7-12

TEL 03-3253-0014

年中無休

8

地下1階には互換機関連ショップが軒を連ねている

東京ラジオデパート

吉葉無線電機	ソフマップ3号店	赤津加	ヒロセムセン パーツセンター 3号店	三和印章
東京ラジオデパート	三和印章	ソフトピア	ヒロセムセン 本店	ヒロセムセン 1号店
		サトームセン 本店		
PC-in 秋葉原 ハイテク ランド セガ	東洋電球	ソフマップ Chicago 1号店		

東京ラジオデパートは、JR総武線高架沿い、ハイテクランドセガの隣りに位置する、地下1階・地上3階建てのビルである。

ビルのなかには、なかなか面白いショップ、怪しい店が集まっており、廃人の巡礼ルートとして定着している。地上階はパーツショップが多いが、地下1階には互換機関連ショップが軒を連ねており、要チェックだ。

■秋葉原エレクトリックパーツ

このお店は、いわゆるジャンク屋ではないが、中古のHDDやCPUなども販売しているのでチェックが必要だ。



▲秋葉原エレクトリックパーツ2号店に通じる階段

▲秋葉原エレクトリックパーツ

通称は「エレバ」。売場面積が非常に狭く、3~4名集まると一杯になってしまう。

IBMのほかにMac関連商品も扱っている。マザーボードも置いてあり、最新の製品がいち早く入荷する。

思えば筆者がIBM互換機をはじめて作成したときに、マザーボードを購入したのが、この「エレバ」であった。当時はまだマザーボードを単体で販売する店がほとんどなく、重宝したものである。

CPUやSIMMメモリ、CPUクーラーなどの小物は、レジカウンターの上に並べて置かれている。Mac関連の商品も多い。

最近、スパキーコンピュータ近くにあるホープビルの2階に、「秋葉原エレクトリックパーツ2号店」を出した。このビルの階段を登っていくと、半開きのドアがあるが、そこが2号店の入り口である。ドアを全開にすると階段をふさいでしまい通行に差し障りがあるので、常時全開できないのだ。

この2号店のほうも、本店に負けず劣らず売場面積が狭い。扱っている商品は、国産の中古パソコンが主だが、HDDや周辺機器の品揃えも多い。

◎本店：〒101-91 東京都千代田区外神田1-10-11 東京ラジオデパートB1F

TEL 03-3253-9340/FAX 03-3251-8544

年中無休

◎2号店：〒101-91 東京都千代田区外神田3-10-6 ホープビル2F

TEL 03-5256-3781/FAX 03-5256-3782

年中無休

■関電(せきでん)

東京ラジオデパート地下1階、秋葉原エレクトリックパーツの隣りにあるジャンクショップ。IBM互換機関連が中心で、時々とんでもないものが飛び出すため、目が離せない。

新品のマザーボードも取り扱っているが、この店の特徴は、レトロな製品がよく出ることであろう。筆者も、昔

AKIBA



▲関電

のマザーボードやビデオカードを多数購入している。IBM PC/XTの本体ジャンクを6台重ねて売り出した——なんてこともあった。

関電では、レトロなボード類のほかにもIBM純正Enhanced PCキーボード(7800円)、同じくIBM純正ATキーボード(7800円)など、キーボード類も多く購入している。筆者はIBM純正キーボードの、あの強いクリック感が好きである。

しかし、ここで購入したジャンクで、最も変なものも電動式メカニカル計算機に止めをさすであろう。筆者はタイガー手回し計算機を持っているが、ここで購入したのは、手で回す代わりに、モーターで回すタイプの、フルメカニカル計算機である。

「BRUNSVIGA Model 11E」というこの製品は、重量5.6kgという、とてつもなく重いドイツ製の電動計算機で、設定桁数7桁、表示桁数11桁というシロモノである。

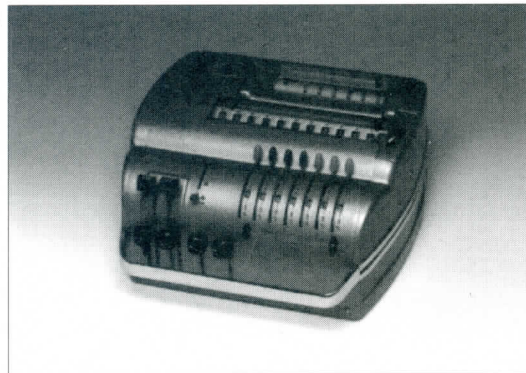
丸みを帯びたアンティークな外観は、テリー・ギリアムのSF映画「未来世紀ブラジル」のような感じを与える。つくりが頑丈なため、いまでも立派に機能する。ただし、手回し計算機ならば停電時にも使えるが、これはそうは行かないところが欠点といえれば欠点か。いま頃こんなものが出てくるとは、なかなか面白いショップである。ちなみに、お値段は8000円であった。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-10-11 東京ラジオデパートB1F

TEL 03-3251-2677

年中無休

▶電動式メカニカル計算機



■T・ZONEラジオデパート店



▲T・ZONEラジオデパート店

この店はジャンク屋ではないが、時々委託販売の中古コンピュータが出てくるので、チェックしている店である。CPU、SIMM、HDDなどを扱っており、CPUクーラーや各種工具、取り付け金具など、小物の品揃えもよい。Mac関連商品も多数扱っている。

1年半ほど前になるが、筆者はここでMacintosh Plus (RAM:1MB)を、キーボード付きで2万5000円で購入した。どこかの工場のラインの出荷検査に使用されていたもののように、CRT上に「PASSED」という焼き付きが若干認められるものの、極めて程度がよく、いまでも使用している。1MBのRAMでは少なかつたため、購入時に4MBに拡張し、ジャンクの40MB SCSI HDDを接続して、System6.0.7を動かしている。

購入時は純正のマウスが付いていなかったが、その後、同店でPlus純正のマウスが出たので、9000円で購入した。Plus純正のマウスは、品薄のせいかなかなかにジャンク市場に出て来なかったもので、購入までに随分時間がかかった。一度など、同店でやっと見つけたPlus用純正マウスを、目の前で他の人に買われてしまい、悔しい思いをしたこともある。

ここで購入した珍品は、なんといってもあの「TK-85」である。日本電気は1976年にマイコントレーニングキット「TK-80」を発売したが、「TK-85」はCPUに8085を使用した後継機種である。委託販売として出てきたもののように、T・ZONEのおじさんも驚いていたが、ほとんど使用された形跡がなく、元箱、アクセサリ、マニュアルはおろか保証書まで付いている掘り出し物であった。もちろん、なんの問題もなく動作している。

つい最近では、程度が極めてよい「Apple IIe」が、CRT、周辺機器、ソフト付きで9万円が出ていたが、すぐに売れてしまった。レトロパソコン収集家の筆者も、喉から手が出るほど欲しかったのだが、貧乏ライターには9万円は高すぎる。

◎〒101-91 東京都千代田区外神田1-10-11 東京ラジオデ

●ジャンクHDDの購入と再生、教えます！

ジャンクHDDの購入は、ジャンク屋巡りの楽しみのひとつである。時としてとんでもない掘り出し物を見つけることができるし、買ったあとでは、無事再生できるかどうかといった楽しみも味わえる。

しかし、ジャンク屋に出てくるHDDは種々雑多で、いったいどの程度の容量があつてどの程度のアクセススピードなのか、型番を見ただけでは、よほどの魔人でなければわからない。

そこで筆者は、愛用のパームトップPCME-386に、NIFTY-ServeからダウンロードしたHARD DISK DATA集(HDSPEC.LZH)を入れて、いつも参照できるようにしている。

HDSPEC.LZHは、1989/6/29時点でアメリカで購入できるHDD約700種類のスペックを掲載したもので、パソコン工作フォーラム(FDEVICE)のDL1、#11に登録されている。

掲載されているHDDは古い物が多いが、ジャンクで出てくるHDDも古いものが多いので、かえって役に立っている。テキスト形式なので、エディタがあれば閲覧可能である。

さて、購入してきたHDDを再生する場合だが、フォーマットソフトとしては、定番となっている「Drive Pro」が便利だ。

Micro House社が発売しているHDDユーティリティ

ソフトで、物理/論理フォーマットはもちろんのこと、HDDのメーカー名と型番を入力すると、CMOSにHDDのパラメータを自動設定してくれる機能も付いており、パラメータ不明のHDDでも、そのほとんどは再生することが可能だ。

HDDのジャンパセッティングが不明な場合は、同じMicro House社から出ている「The Hard Disk Technical Guide」が役に立つ。約1700個のHDDのパラメータ、ジャンパ設定およびコントローラカードの設定を記載した本だ。

それでも物足りないという重症の魔人諸氏は、やはりMicro House社が出している「Hard Disk Drive Encyclopedia」をお勧めする。その名のとおりHDDの百科事典であり、2200個以上のHDDのスペック、ジャンパ設定、100個以上のコントローラカードの設定について記載された膨大な資料集だ。

以上述べた製品は、アメリカの通販会社であるJDRから購入することができる。

JDRの連絡先と、ご紹介したそれぞれの品名を、下記に示しておく。

◎JDR Microdevices

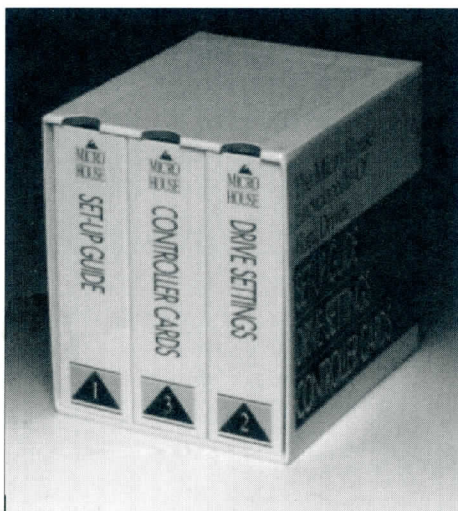
1850 South 10th Street San Jose, CA 95112-4108

TEL 408-494-1400/FAX 408-494-1420

BBS 408-494-1430



▲「Drive Pro」と「The Hard Disk Technical Guide」

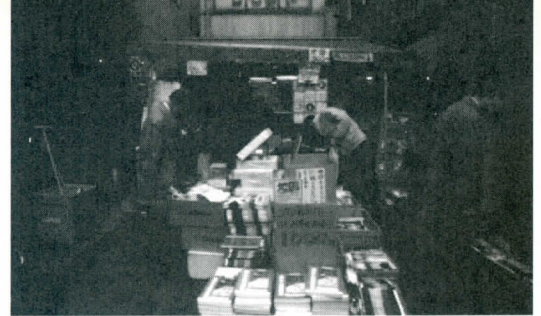
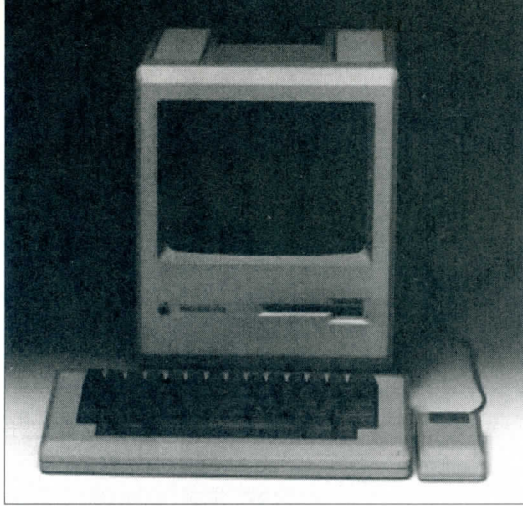


▶「Hard Disk Drive Encyclopedia (書籍)」

品名	品番	カタログ価格(ドル)
Drive Pro	DRIVE-PRO	79.95
The Hard Disk Technical Guide	MH-HDTG	49.95
Hard Disk Drive Encyclopedia	HDD-ENCY	149.95 (書籍)
	CD-HDD-ENCY	179.95 (CD-ROM)

◀波多利朗のおススメ品

▶「Macintosh Plus」フルセット
(純正マウス、キーボード付き)



▲ニューサクラヤ

▼TK-85



東京 ラジオ デパート		三 ツ サ ク ラ ヤ	ヒロセムセン 本店	
PC-in 秋葉原 ハイテク ランド セガ	東洋電球		ソフマップ Chicago 1号店	尚華堂

のみち)」と呼んでいる。

このニューサクラヤは、コンピュータ関連機器のほかに、家電の中古品や日用品など非常に幅広いジャンルのジャンク製品を置いているのが特徴だ。アマチュア無線やカーステレオのジャンクにも強い。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-10-2

TEL 03-3255-6428

定休日：毎週月・木曜日

パートB1F

TEL 03-3257-2694/FAX 03-3257-2676

定休日：毎週月曜日

■一三電商(ひふみ電商)

同じく東京ラジオデパートの地下1階にあるジャンク屋。スイッチング電源やFDD、HDDなどを置いている。店は小さいが、時々安いFDDやHDDの中古品が出てくるので注意が必要だ。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-10-11 東京ラジオデパートB1F

TEL 03-3253-3898

定休日：毎週日・月・木曜日

10

明るい店内はジャンク屋には見えないが、掘り出し物も多い

たんせい本店



▲たんせい本店

9

家電の中古品や日用品なども置いている

ニューサクラヤ

東京ラジオデパートの裏口を出てすぐ右手にある店が、ニューサクラヤである。細い路地の奥まったところに位置し、さながらビルの谷間にあるジャンク屋さん、といった感じだ。

ちなみに、「東京ラジオデパート」の裏口を出て「牛井屋 どんどん」へ抜ける経路を、われわれは「魔人の獣道(けも

鈴木ビル	駐 車 場	たんせい本店
		大同ビル

東京 S.D. 産業
大滝美容院 新栄コネクタ
西本貿易
今井ビル

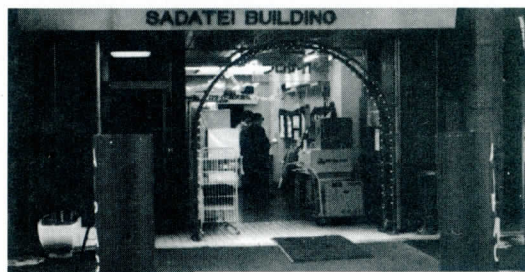
つい最近オープンした、あの神林ビルのなかにある「たんせい」の本店。昌平橋通りに面している。神林ビル店は、いかにもジャンク屋といった雰囲気だったが、ここは店内が明るくきれいで、一見ジャンク屋に見えない。ジャンクパーツも多種多様で、掘り出し物も多い。

◎〒101 東京都千代田区外神田3-1-3

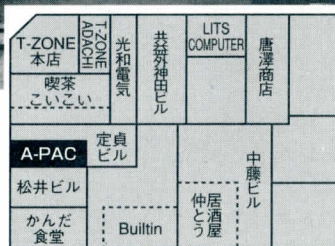
TEL 03-3254-8098

定休日：毎週木曜日

11 アウトレット内の改装で「廃人の棚」コーナー出現 A-PAC



▲A-PAC



T-ZONE本店ビルの横に位置する、プロサイドが経営するショップ。ジャンクショップではないが、この地下1階アウトレットにジャンクが置かれているので、要チェックだ。

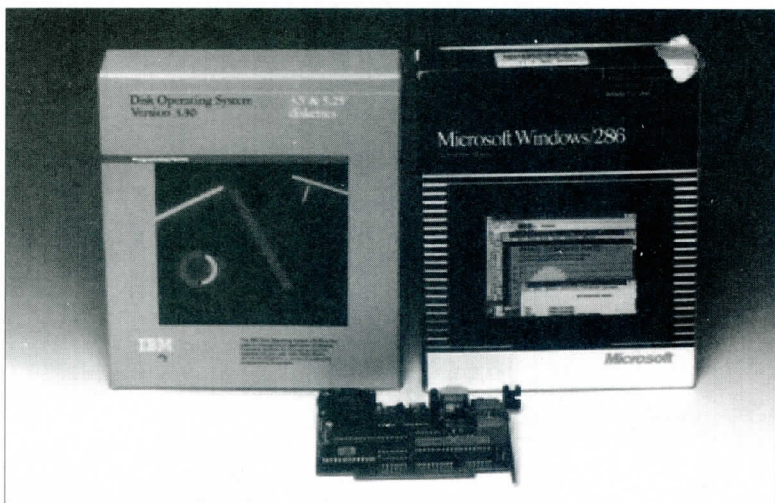
このアウトレットは、本誌「Funky Goods」コーナーでもたびたび取り上げているが、とにかく怪しい。最近、アウトレット内を改装し、なんと「廃人の棚」と呼ばれるコーナーができてしまったのには驚いた。ここまでやれば見事である。

ジャンクのほかに、ケース、各種カード類、ソフト、CD-ROMドライブなど、さまざまなものが置いてある。

ここでは、本誌連載でも紹介したレトログッズを多数購入している。

レトロソフトも購入しており、「IBM Disk Operating System Version 3.30」などは、新品・未開封のものが2800円だった。また、「Microsoft Windows/286 Ver2.11」などといった珍しいものも500円で売られていた。

GVC社製の1200bps内蔵モデム「SM-12H」が1200円と、店長もあきれほどの値付けがメチャクチャな商品もあり、なかなか楽しませてくれる。今後も、とんでもないジャンクの出現に期待したいものだ。



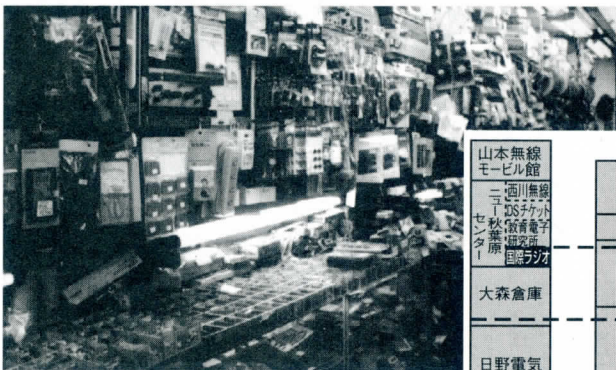
▲左から「IBM Disk Operating System Version 3.30」（未開封品）、「Microsoft Windows/286 Ver2.11」、GVC社製の1200bps内蔵モデム「SM-12H」

◎〒101 東京都千代田区外神田4-4-9 定貞ビル1F、B1F

TEL 03-3255-1514 / FAX 03-3255-1510

定休日：毎週水・木曜日

12 なにがあるかわからない古典的ジャンク屋 国際ラジオニュー秋葉原センター店



▲国際ラジオニュー秋葉原センター店

JR山手線ガード下に位置するニュー秋葉原センター、その入り口に店を構えるのが国際ラジオである。

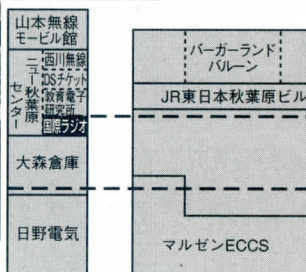
路上まではみ出したジャンク品は、黒電話機、FAX、ワープロ、HDD、FDD、キーボード、謎の基板、VTR、CD-ROMドライブ、ACアダプタなど、まさに宝庫といった趣きだ。

IBM互換機系のジャンクも時々出てくるが、それよりも、なにがあるかわからないといった雰囲気が楽しい。「ジャンク屋とは、かくあるべし」といったような、古典的ジャンク屋さんである。

◎〒101 東京都千代田区外神田1-16-10 ニュー秋葉原センター

TEL 03-3253-7201

定休日：毎週木曜日



AKIBA



休日には店先で「ロビン名物ジャンク市」を開催
ロビンマイコンショップ

▶ロビンマイコンショップ



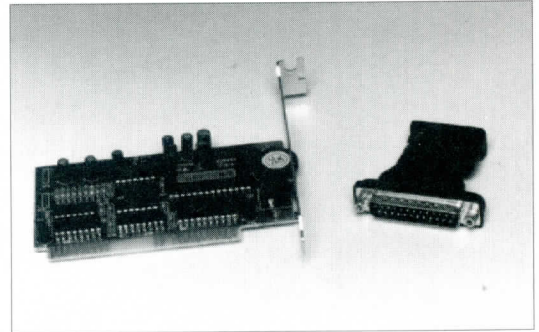
DFビル
産報佐久間ビル
佐久間橋児童公園
書泉ブックタワー

第一家電ableメディア館
東宝ネオン
磁気研究所
秋葉原児童公園
天下一
薬局
鳥山ふく
SHIBAFU

JR秋葉原駅西口を出て、秋葉原児童公園沿いを歩くと、角にロビンマイコンショップがある。秋葉原では老舗の部類に属する。ジャンクショップではないが、休日には店

先で「ロビン名物ジャンク市」が開催され、結構怪しい物が出てくることがある。VLバス対応マルチI/Oカード3000円とか、謎の音源カード1000円など、探すと結構おいしいジャンクが出てくる。変換コネクタ100円なんてのもあった。

◎〒101 東京都千代田区外神田佐久間町1-17 亀谷ビル
TEL 03-3255-6027 / FAX 03-3251-0635
定休日：毎週木曜日



▲謎の音源カード(左)と変換コネクタ

●アキバ巡りの必携ガイド「秋葉原マップ」

秋葉原マップといっても、紙の地図ではない。MS-Windows対応のフリーソフトウェアである。

MS-Windowsのヘルプ機能を利用して、マップ表示による地図検索と、ショップ検索を行うものである。掲載されているショップは、主にPC/AT互換機ショップ、CD-ROMショップ、ジャンクショップで、今回紹介したジャンク屋のほとんどが掲載されている。

プログラムを起動すると、「マップ検索」と「ショップ検索」のメニューが表示される。

「マップ検索」を選択すると、秋葉原全景マップが表示され、詳細に見たいブロックをクリックすると、そのブロックの、より細かい地図が出力される。ここで、詳細情報が登録されているショップをクリックすると、そのショップの住所、電話番号、定休日、営業時間、取扱商品などの情報が出力される。

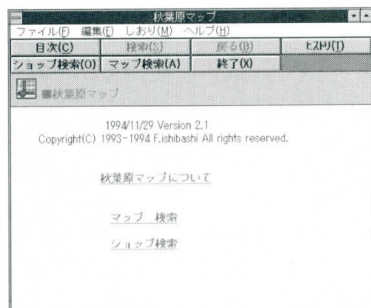
一方、ショップ検索では、ショップの名前から詳細情報を検索したり、ショップの種別ごとに検索できるようになっている。とにかく操作性に優れ、掲載情報も豊富なので、非常に便利なソフトである。

本稿の作成にも使用させていただいたこのソフトの著者は石橋文健氏で、現在のバージョンは1994/11/29 Version 2.1が最新のものとなっている。石橋氏によると、将来的にはWWWサーバに載せてInternet+Mosaicでも検索ができるようにする予定だそうだ。また、英語版の作成も検討中とのことである。

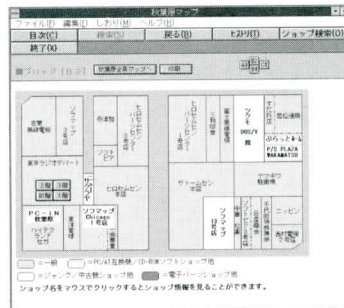
掲載されている場所は、以下のとおりである。

NIFTY-Serve→FWINF→4:DL→10、FIBMNEW→4:DL→1
PC-VAN→アキバ・ナウスIG

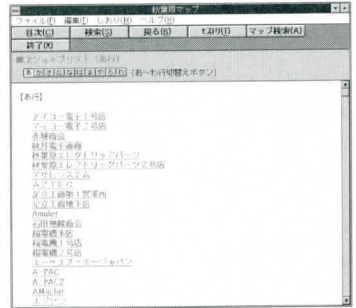
AKIBA



▲メインメニュー



▲「マップ検索」画面



▲「ショップ検索」画面